

# 吉岡町まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和5年度実績

## 基本目標 1.「地域力」を活かした、誰もが安心して暮らせるまち

数値目標	住みやすい町と感じている町民の割合	基準値	83.2%(平成30年度)
		目標値	85.0%(令和6年度)

### (1)豊かな住環境の整備と安心・安全、便利なまちづくり

KPI	公共交通利便性向上に関する実証実験等取組事業数			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	2種類 (達成目標)	現況 H30	1種類	バスは他市町村との乗合のため町独自での実証実験が困難である。デマンド交通に対する需要を満たすため、タクシー運賃等助成事業の制度拡充に注力する。
年度	実績値		達成率	
R2	1種類		50%	
R3	1種類		50%	
R4	1種類		50%	
R5	1種類		50%	
R6	-種類			
担当部署	企画財政課 企画室			
KPI	消防団員の充足率			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	90% (達成目標)	現況 H30	79%	団員募集活動は行ったものの、各個人の生活スタイル、価値観の多様化等を含めた社会状況の変化により、消防団に対する関心が高まらず、団員の増加にはつながらなかった。しかしながら、初めて女性消防団員が3名入団するなど、将来に向けてポジティブな要素も見られた。
年度	実績値		達成率	
R2	78.9%		88%	
R3	73%		81%	
R4	63%		70%	
R5	58%		64%	
R6	-%			
担当部署	総務課 協働安全室			
KPI	マイナンバーカードを利用した諸政策の実施			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	5件 (達成目標)	現況 H30	未実施	達成 →コンビニ交付、図書カード、ぴったりサービス、庁舎のマルチコピー機設置、書かない窓口(実証実験)の5件 書かない窓口については、実証実験にとどまっているため、実験結果を踏まえて本格導入の視野に検討する。
年度	実績値		達成率	
R2	1件		20%	
R3	1件		20%	
R4	3件		60%	
R5	5件		100%	
R6	-件			
担当部署	企画財政課 企画室			

### ①計画的な土地利用による良好な住環境の形成

主な施策・事業	概要	取組実績
身近な公園の整備	子育て世帯を中心に、身近な憩いの場を求める声が多いことから、計画的な公園等の整備を進めていきます。	【午王頭川親水公園整備事業】(都市建設室) 実績なし
		【八幡山運動公園整備事業】(生涯学習室) 未買収地における用地取得を実施。八幡山グラウンド基本構想を作成した。
		【自治会広場の整備】(協働安全室) 令和5年度としては相談も含め、実績はなかった。
土地利用の規制・誘導	市街地の「まとまり」をつくり、全ての世代が暮らしやすいまちを目指すため、土地利用の規制・誘導について推進します。	【都市計画マスタープランの見直し・改定】(都市建設室) 見直しについて検討
		【土地利用規制手法の検討準備】(都市建設室) 見直しについて検討
緑化推進事業	花と緑の美しいまちづくりを推進していくために、住民の緑化思想の普及啓発を図るとともに、住民参加による都市緑化の取組を推進します。	【緑の少年団育成事業】(農業振興室) 明治・駒寄小学校5年生を対象にプランターを作成するなど、緑化思想の高揚が十分に図れた。

②公共交通・道路網の充実

主な施策・事業	概要	取組実績
公共交通利便性向上事業	恵まれた都市環境をさらに発展させるとともに、公共交通空白地域・不便地域の解消と町民のスムーズな移動の確保を目指し、タクシー運賃等助成事業の更なる拡充や巡回バスなどの運行により、公共交通の利便性の向上を図ります。	<p>【前橋駅上野田線運行ダイヤ見直し及びルート変更協議】(企画室)</p> <p>吉岡バイパスへの経路変更が行われたことにより、商業施設へのアクセスが容易になった。</p>
		<p>【タクシー運賃等助成事業の実施】(企画室)</p> <p>利用者の利便向上のため、1回の乗車で利用可能な枚数を拡大し(2枚→4枚)、介護福祉タクシーも利用可能となるよう制度を改正した。</p> <p>【実績値】 利用枚数:6,280枚 助成額:3,140,000円 申請者数:391人</p>
		<p>【巡回バス運行事業】(スクールバスの活用事業も含む)】(企画室)</p> <p>デマンド交通にかかる需要を満たすため、タクシー運賃等助成事業の制度改定を実施した。</p>
		<p>【通学バスの運行】(学校教育室)</p> <p>昨年度と同様のバスの運行を行った。 吉岡町立の小中学校に通学する児童等の通学の利便を図るため、次の料金で運航した。 児童等1人につき1か月単位での使用の場合は1,550円。7月と8月は夏季休暇のため2か月で1か月分の料金としている。 1日単位の使用の場合は100円。 ただし、同一世帯内に利用児童等が2名以上いる場合における最年長の児童等以外の児童等の使用料は0円。</p>
政策連携による道路整備の推進	近隣自治体との連携道路の整備促進や、国や県に対する要望活動を通じ更なる道路網の充実を図ります。	<p>【渋川連携道路】(都市建設室)</p> <p>次年度の道路改良工事の範囲における用地購入、移転補償 一般県道渋川吉岡線付近(その3工区)の道路改良工事、電柱移設</p>
安心して通行(歩行)できる環境整備	通学路を中心に、児童・生徒が安心して通行できるよう、関係機関との協議を進めます。 緊急輸送道路や通学路を対象として、地震によるブロック塀等の倒壊等の被害を防止し、道路利用者の安全を確保します。	<p>【ブロック塀除却補助事業】(都市建設室)</p> <p>2件(400,000円)交付した。</p>
		<p>【通学路の危険箇所の把握と解消】(用地管理室)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交差点改良1カ所(歩道だまり整備、防護柵設置)</li> <li>・拡幅改良(路肩整備)1カ所</li> <li>・歩道整備1カ所</li> <li>・ガードレール設置</li> <li>・その他(道路区画線補修、自転車事故注意喚起看板設置2カ所、ラバーポール設置等)</li> </ul>
		<p>【県道歩道整備の推進】(用地管理室)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前橋伊香保線歩道整備事業説明会(上野田交差点西)の開催支援等を行った。</li> <li>・地権者との調整(1件)を行った。</li> </ul>
<p>【橋梁長寿命化計画の策定及び橋梁定期点検の実施】(用地管理室)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・吉岡橋補修工事を行った。</li> <li>・橋梁定期点検を行った。</li> <li>・北天神橋の撤去を行った。</li> </ul>		

③安心・安全なまちづくり

主な施策・事業	概要	取組実績
防災・減災に向けた取組の更なる強化	<p>自主防災組織による活動を支援するとともに、講習会などを実施して防災知識の習得や普及を図ります。また、新たに地域防災活動のリーダーとなる防災士等の育成を推進します。</p> <p>災害等に迅速に対応するため、老朽化している防災無線のデジタル化と戸別受信機の設置を進め、防災機能の充実を図ります。</p> <p>消防団員の確保をするため、町や自治会の行事等で団員募集チラシを配布・回覧し入団希望者を募るとともに、町内の企業や店舗に対し従業員の入団を働きかけるなどし、消防団の充実強化を図ります。</p> <p>防災、減災に対するアンケートによる住民一人ひとりの意識度を調査するとともに、各家庭での防災備蓄、減災対策の啓発を行い、「自助」に対する意識強化を図ります。</p>	<p>【講演会の開催】(協働安全室)</p> <p>3つの自治会の防災訓練等に町職員が講師として参加し、住民の防災意識の向上を図った。</p>
		<p>【防災無線放送施設整備事業】(協働安全室)</p> <p>保守点検を業者に委託し、維持管理を継続するとともに、戸別受信機の新規設置等を行った。</p>
空き家対策事業	<p>周辺の生活環境に悪影響を与えることが懸念される「問題のある空き家」について実態を調査し、必要な措置をとっていきます。</p>	<p>【空き家実態調査】(都市建設室)</p> <p>月1回の空き家相談を実施した。 「吉岡町空き家対策」冊子の寄贈を受け配布を始めた。</p>
住宅耐震対策事業	<p>耐震診断により、改修が必要とされた住宅の改修費用の一部助成制度を推進します。</p>	<p>【耐震診断者派遣事業】(都市建設室)</p> <p>実績なし</p>
		<p>【住宅耐震対策事業】(都市建設室)</p> <p>実績なし</p>
放課後児童安全対策事業(見守りパトロール)	<p>児童の帰宅時等の安全を確保するため、放課後に見守りパトロールを実施します。</p>	<p>【見守りパトロール事業】(協働安全室)</p> <p>委託先が公益社団法人群馬県長寿社会づくり財団に変更となり、内容については昨年どおり実施した。</p>
放課後児童安全対策事業(防犯カメラ)	<p>児童の安全の確保および犯罪防止を目的として、児童が集まる場所等に防犯カメラの設置を進めます。</p>	<p>【防犯カメラ設置事業】(協働安全室)</p> <p>既存の防犯カメラの設置箇所及び管理者について、再検討、見直しを行った。また、不具合の修繕を行った。</p>

④利便性の高いまちづくり(新しい時代の流れを強化)

主な施策・事業	概要	取組実績
新しい技術の導入推進	<p>行政手続における添付書類の簡略化や、各種手続きにおける行政機関への来庁を不要とする電子申請等への取組、国や県および民間企業などの協働による自動運転(無人)バスの実証実験等の取組を推進します(Society5.0の活用・推進)。</p>	<p>【証明書等コンビニ交付サービス】(企画室)</p> <p>トラブルなく安定稼働を継続している。</p>

⑤未来志向の持続可能なまちづくり

主な施策・事業	概要	取組実績
行財政運営の効率化	<p>限られた資源の中で、先進的な技術を取り入れることで、人的・財政的にも持続可能なサービスを維持していきます。</p>	<p>【自治体DX推進計画の推進】(企画室)</p> <p>マイナポイント第2弾の申請期限延長に伴い、10月末まで支援窓口の継続を実施した。</p>
		<p>【住宅用太陽光発電システム設置整備事業費補助金事業】(住民環境室)</p> <p>58件、5,729,000円の補助を行った。</p>

(2)住民が共に進めるまちづくり

KPI	自治会により地域づくり振興事業補助金を活用した事業の参加者数			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	8,000 人 (達成目標)	現況 H30	7,029人	コロナ5類移行に伴い、各地域でお祭りが開催されたが、全面的に各イベントが再開されるまでには至らなかった。一部の地域では、コロナ感染を考慮しお祭り開催を中止し、子供たち(中学生以下等)に花火セットを配布するなど対策した自治会もあった。
年度	実績値		達成率	
R2	410 人		5%	
R3	620 人		8%	
R4	637 人		8%	
R5	3,867 人		48%	
R6	- 人			
担当部署	総務課 協働安全室			

主な施策・事業	概要	取組実績
自治会地域づくり振興事業	自治会の自主的な取組による地域に根ざす活動を支援し、地域の特色を活かした魅力あふれる施設づくりによるまちづくりを推進します。 地域活動の先進事例紹介などの講演会等を開催し、自治会活動を支援します。	【自治会地域づくり振興事業】(協働安全室)  自治会の負担軽減を図りながら町と自治会の協働のまちづくりを推進するため、「自治会振興助成事業補助金」に統合し、実施した。
		【自治会振興助成事業】(協働安全室)  自治会の負担軽減を図りながら町と自治会の協働のまちづくりを推進するため、「自治会振興助成事業補助金」に統合し、実施した。
ごみ出し支援ボランティア	高齢者や障害者の一人暮らし世帯等で支援が必要な方が安心して暮らせるように、地域や団体がごみ出し等を代わりに行うなど、取組を推進します。	【ごみ出し支援ボランティア事業】(住民環境室)  実際に自治会等で実施したところはなかった。
地域づくり団体への支援強化	組織化に至っていない地域づくり団体に対し、県地域づくり協議会との連携の中で、ノウハウなどの提供をしながら、サポートを行っていきます。 現在町内で活動されている団体との繋がりを更に密にし、補助金等も含め支援します。 県地域づくり協議会との関わりをさらに深め、県内自治体および加盟団体との相互連携の中で活動内容の充実を図ります。	【未組織化の地域づくり団体のサポート及び既存団体の活動強化】(協働安全室)  県地域づくり協議会の会議に出席できず、地域づくり団体をサポートすることができなかった。

## 基本目標 2. 一人ひとりが輝き、生き生きと暮らせるまち

数値目標	子育てしやすいと感じている保護者の割合	基準値	33.1%(平成30年度)
		目標値	35.0%(令和6年度)
	健康と感じている高齢者の割合 (要介護認定者を除く)	基準値	68.8%(令和元年度)
		目標値	72.0%(令和6年度)

### (1) 子育てしやすいまちづくり

KPI	子育て相談会利用者数			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	200人 (達成目標)	現況 H30	152人	達成 R5年度後半、相談会の枠に空きがなく随時対応または待機となることがあった。相談ニーズの増加に伴い、R6年度からはすてっぷ相談の枠を月4枠から6枠に増枠して対応する。
年度	実績値		達成率	
R2	347人		174%	
R3	192人		96%	
R4	194人		97%	
R5	227人		114%	
R6	-人			
担当部署	健康福祉課 健康づくり室			
KPI	学童クラブの定員			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	405人 (達成目標)	現況 H30	365人	達成 認定こども園駒寄幼稚園学童クラブが建設・開所となり定員数が拡大した。今後は更なる定員数の確保に向け、駒寄第3学童クラブ増築にかかる基本設計、実施設計業務及び建設工事を行う。
年度	実績値		達成率	
R2	385人		95%	
R3	485人		120%	
R4	490人		121%	
R5	550人		136%	
R6	-人			
担当部署	健康福祉課 子育て支援室			

### ① 子育てに関する不安や悩みの軽減

主な施策・事業	概要	取組実績
産前・産後サポート事業	家事や育児を手伝ってくれる家族がいない、産前1か月から産後1年までの妊産婦を対象に、家事や育児の支援を実施します。	【産前・産後サポート事業】(健康づくり室) 妊娠届出時、出生手続き時、家庭訪問時等に、案内チラシにて事業を周知した。妊娠届出数:167件。転入妊婦17件。
発達障害の早期発見のための各種健診の充実	自閉症やADHD(注意欠陥・多動性障害)・ASP(アスペルガー症候群)等の広汎性発達障害を早期に発見し、子どもの生活のしづらさと保護者の負担や不安の軽減を図るため、「こどものこころの発達健診」「年中児こころの成長アンケート」「発達支援教室」を実施します。	【こどものこころの発達健診】(健康づくり室) 対象者への声掛け:0件、参加者:0人 *新型コロナウイルス感染症の影響により健診会場の変更があったため、発達検査は現在実施していない(相談を充実させている)。1歳6か月児健診時に心理相談の利用へ繋がれば、こころの発達健診ではなく数か月後の個別の相談会等に繋げてフォローしている。
		【年中児こころの成長アンケート】(健康づくり室) アンケート発送数:220件 保護者回答数:174件 園への依頼件数:52件 発達支援教室案内送付数:37名(内教室参加希望者14名) 電話フォロー:80件
		【発達支援教室】(健康づくり室) 「じゃんぷ」(12回開催) 発達支援教室案内送付数:37名(内教室参加希望者14名) 参加者(延):88名 「ほっぷ」(12回開催) 参加者(延):88名
育児相談事業	乳幼児検診の事後相談の充実と、母乳相談や子育て相談会のスタッフの充実を図ることにより、健診後の要観察児童の電話相談や訪問相談等のフォローを充実させて、育児不安やストレスの軽減・解消を図ります。	【育児相談の充実事業】(健康づくり室) 子育て相談会:38件 すてっぷ:40件 ことばの相談:18件 運動発達の相談:35件 随時心理相談:96件 TEL相談:109件 母乳・離乳食相談:193件 助産師相談会:7件
ワーク・ライフ・バランスの普及・促進	町民や企業に対しての広報・ホームページ等を通じたPR活動により、ワーク・ライフ・バランスに対する意識の啓発を図り、仕事と家庭の両立を促進していきます。	【ワーク・ライフ・バランス普及促進事業】(産業振興室) 広報や庁舎内への掲示に加え、ホームページを用いての情報周知を行った。
赤ちゃんの駅(情報マップ)の活用支援	外出中のおむつ替えや授乳などで誰でも自由に立ち寄ることができる公共施設や民間施設を「赤ちゃんの駅」として指定します。また、赤ちゃんの駅がどこにあるのか一目で分かるよう、地図等による情報提供を充実していきます。	【赤ちゃんの駅情報提供】(子育て支援室) 継続設置
		【赤ちゃんの駅指定事業】(子育て支援室) 広報誌、町ホームページ等を通じて周知を図った。

②子育ての経済的負担の軽減

主な施策・事業	概要	取組実績
不妊・不育対策支援	特定不妊治療への助成に加えて、一般不妊治療、男性不妊治療、不育症など各種不妊治療に対し一部助成をすることにより、子どもをもちたいと考えている夫婦が安心して治療に望める環境を引き続き整えていきます。	【不妊治療費助成事業】(健康づくり室) 令和5年度助成数17件(775,000円) 【内訳】 特定不妊治療(延べ)10件(633,000円) 一般不妊治療7件(142,000円)
学校給食費における負担額軽減事業	引き続き、町内の児童生徒の学校給食費の一部補助を実施し、子どもをもつ家庭の経済的負担の軽減を図ります。	【学校給食費補助事業】(教育総務室) 児童生徒1人当たり950円×11ヶ月=10,450円 食材費補助 5,000,000円 第3子以降給食費無料化(減免)制度を継続 物価高騰分 15,000,000円
高校生等の通学支援	公共交通機関を利用して遠距離通学する高校生等をもつ家庭の経済的負担軽減を図ります。	【高校生等公共交通通学支援事業】(企画室) 広報や町ホームページなどで周知した。 電子申請が可能になり保護者の負担を軽減した。 申請件数:280件(内電子申請255件) 申請者数:92人 補助額:784,000円

③働きながら安心して子育てできる環境整備

主な施策・事業	概要	取組実績
学童クラブの充実・整備	年々増加する学童クラブの利用希望や要望に対応できるように、環境整備を進めていきます。	【駒寄第4学童クラブ整備事業】(子育て支援室) 認定こども園駒寄幼稚園学童クラブが建設され開所した。 【新明治第2学童クラブ新設事業】(子育て支援室) 認定こども園駒寄幼稚園学童クラブが建設され開所した。

(2)「子どもを育てる」、「子どもが育つ」環境づくり

KPI	ALT(外国語指導助手)の人数 (日本人を含む)		未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	4人 (達成目標)	現況 H30 3人	達成 今後も4名のALTを配置し、児童生徒の英語教育の充実を図る。
年度	実績値		
R2	4人	100%	
R3	4人	100%	
R4	4人	100%	
R5	4人	100%	
R6	1人		
担当部署	教育委員会事務局 学校教育室		
KPI	マイタウンティーチャーターの人数 (学級補助員を含む、ALTを含まない)		未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	17人 (達成目標)	現況 H30 14人	達成 特支支援員は特別支援学級数により変動があるため、人員配置は毎年度見直しすることで支援の充実を図る。
年度	実績値		
R2	17人	100%	
R3	17人	100%	
R4	19人	112%	
R5	21人	124%	
R6	1人		
担当部署	教育委員会事務局 学校教育室		

①就学前児童と保護者の交流・成長支援

主な施策・事業	概要	取組実績
家庭保育児支援事業	保育園等に通園していない保護者の育児相談や子育てサークルへの指導・援助、一時預かり事業や児童館および子育て支援センターの充実を図ります。	【地域子育て支援拠点事業】(子育て支援室) 吉岡町第4保育園内に病後児保育施設が設置された。
保育士確保事業	増加する保育園等への入園希望世帯のニーズに応えられるように、保育士の確保を進めていきます。	【保育士確保事業】(子育て支援室) 継続実施

②児童・生徒の教育環境等の充実

主な施策・事業	概要	取組実績
ALT、マイタウンティーチャー等の拡充		【ALTの活用・増員】(学校教育室)  明治小:1、2年生には日本人ALT、3年生以上には外国人ALTを配置した。 駒寄小:1～3年生には日本人ALT、4年生以上は外国人ALTを配置した。 吉岡中:全学年に外国人ALTを配置した。 上記状況の通り、主な取組の概要通りの実施ができた。
		【マイタウンティーチャー等の活用・増員(学習補助員を含む)】(学校教育室)  マイタウンティーチャーは、明治小に3名、駒寄小に1名の計4名を配置し、学級補助員は、明治小に7名、駒寄小に8名、吉岡中に6名の計21名を配置した。
学校・家庭・地域の連携推進事業	学校運営協議会の中で、学校・家庭・地域の連携のあり方について考えていきます。 地域住民による地域学習やスポーツ指導、登下校時の見守り等のボランティア活動を推進し、地域の教育力の向上を図っていきます。	【地域学校支援センターによる地域人材の活用】(学校教育室・生涯学習室)  学校運営協議会の活性化のため、会議を4回、自主研修を1回実施した。各校の教育活動の視察を通して「よしおかの子育てプラン」の見直しや具体的な取組に向けての熟議を行った。
吉岡町・大樹町子ども交流事業	次世代を担う町内の小学生を大自然あふれる友好都市北海道大樹町に派遣し、自然体験活動・社会体験活動・宿泊体験活動を通じて「生きる力」を育み青少年の健全育成を図ります。 異なる環境や生活・文化を学ぶことにより視野を広げ、学校・地域社会でリーダーシップを発揮できる人材を育成していきます。	【吉岡町・大樹町子ども交流事業】(生涯学習室)  ・6月4日 公開抽選会 ・7月2日 事前研修①(児童及び保護者) ・8月3日 事前研修②(児童のみ) ・8月20日～23日 本研修 ・8月25日 事後研修(オンライン)

③子どもの可能性を広げるための学習支援

主な施策・事業	概要	取組実績
「プロフェッショナル」による出前講座の開催	スポーツや芸術分野等で活躍する「プロフェッショナル」の方に職業紹介や人生体験等を語ってもらうことにより、こころ豊かな子どもの成長を促します。	【講座開催に向けた小中学校との調整】(学校教育室)  スポーツや文化芸術で活躍する方の講話や体験教室は授業としての実施でしかなかったが、休日の部活動において、ヤマダHDと連携した陸上教室は実施できた。(生涯学習室担当)
ICT環境の充実	文部科学省のGIGAスクール構想に基づいた超高速ネットワークや児童生徒用端末等のICT環境の整備を行い、学習者用端末を日々の学習用具の一つとして活用する中で、児童生徒に国際社会に通用する意識やスキルを身に付けさせるための取り組みを行います。	【パソコン教室の整備・タブレットの導入】(教育総務室)  ・令和2年度から整備した端末整備の維持。 ・GIGAスクール運営支援センター事業を7月から開始し、問題解決やアプリ開発などを行った。 2,142,800円 ・公立学校情報機器活用支援体制整備費補助金(GIGAスクール運営支援センター整備事業) 787,000円

(3)健康で生き生きと暮らせるまちづくり

KPI	特定健診および人間ドック受診率			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	50.0 % (達成目標)	現況 H30	44.4%	令和4年度と比較し、健診受診率は横ばいとなった。広報やHPなど周知は行っているが、受診率が伸びず、今後、受診勧奨の方法を検証していく必要がある。
年度	実績値		達成率	
R2	33.2 %		66.4%	
R3	34.5 %		69.0%	
R4	36.8 %		73.6%	
R5	38.2 %		76.4%	
R6	- %			
担当部署	健康福祉課 健康づくり室			
KPI	よしおか健康No.1プロジェクト等参加者数			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	25,000 人(延) (達成目標)	現況 H30	延19,705人	参加上限人数の緩和や活動数を増加し、参加者数は増加傾向にあるが、コロナ禍による参加自粛から回復しきれていないため。
年度	実績値		達成率	
R2	13,028 人(延)		52%	
R3	14,469 人(延)		58%	
R4	17,772 人(延)		71%	
R5	18,450 人(延)		74%	
R6	- 人(延)			
担当部署	健康福祉課 健康づくり室			
KPI	地域福祉交流拠点施設利用者数			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	3,000 人 (達成目標)	現況 H30	1,802人	人数制限がなくなり、またカフェなどの活発な活動により、増加傾向にある。 ⇒今後も引き続き現在の活動をしていきつつ、新しい取り組みなども増やすことにより来訪者数の増加を目指す。
年度	実績値		達成率	
R2	928 人		31%	
R3	909 人		30%	
R4	1,746 人		58%	
R5	2,006 人		67%	
R6	- 人			
担当部署	健康福祉課 介護高齢室			

①地域ぐるみでの健康づくり施策の推進

主な施策・事業	概要	取組実績
健康活動の推進事業	一日の運動量を活動量計などで確認することにより、町民の健康意識の向上を図ります。	【健康増進事業】(健康づくり室) 基本的な感染対策を行い、講演会や健康まつり等の集団での事業を実施した。 巡回対応教室等、地域ごとの事業を継続して実施した。
総合検診の充実	総合検診として、特定健診、がん検診、わかば健診を同日に実施し、受診率を高め、町民の健康管理および病気の早期発見につなげることで、町民の健康づくりを支援します。	【総合検診の充実】(健康づくり室) 集団検診を11日間実施。令和5年度はほぼ全検診(健診)にて、令和4年度と比較し、受診者数は上昇した。 【集団検診受診者数】 肺がん:1,772人 大腸がん:1,742人 胃がん:709人 乳がん:1,011人 子宮頸がん:788人 前立腺がん:613人 特定健診:707人 わかば健診:301人
介護予防・生活支援サービス事業の推進	支援を必要としている高齢者を対象に、生活機能の低下に係る早期発見・早期対応を行う介護予防・生活支援サービス事業を提供することにより、要介護状態とならないように支援をしていきます。	【介護予防・生活支援サービス事業の実施】(介護高齢室) 訪問・通所介護相当のサービス、「訪問型サービスC」を1件実施した。 もう1件は起案後対象者が体調不良となり実施せず。
学習機会の充実	教養講座をはじめとする様々な学習機会を提供することにより、町民の生きがいづくりを支援します。	【よしおか手作り講座】(生涯学習室) 15講座の案内となり、開講率は60%となった。調理及び制作するものは、材料費の負担が大きいこともあり、応募数が満たず開講に至らなかった。 【教養講座】(生涯学習室) 高齢者向け教養講座「エネルギーカレッジ」や体操や脳トレを行う「いきいき健康教室」を実施した。

②誰もが活躍できる地域社会の形成

主な施策・事業	概要	取組実績
地域福祉交流拠点施設交流事業	吉岡町社会福祉協議会のサポートのもとボランティアが主体となり、元気になるカフェをはじめとした様々な事業を実施します。	【「元気になるカフェ」の開催】(介護高齢室) 元気になるカフェや22カフェなど様々な活動を行った。



### 基本目標 3. 地域資源を活かした産業や交流を応援するまち

数値目標	就学未満児の母親が働いている割合 (育児時、パート等を含む)	基準値	71.8%(平成30年度)
		目標値	73.5%(令和6年度)
	高齢者の就業率(要介護認定者を除く)	基準値	21.6%(令和元年度)
		目標値	25.0%(令和6年度)

#### (1)地域を誇りに思い、魅力を発信するまちづくり

KPI	道の駅年間利用者数			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	440,000 人 (達成目標)	現況 H30	419,514人	令和5年度における温泉施設の長期休業はなかったが、新型コロナウイルス感染症発生以降の入場者数の落ち込みが継続してある。また、近隣に道の駅施設が立地した影響も想定される。コロナ発生前の利用者数には戻ってはいないが、当年度当月実績は前年前月実績を上回っている。コンサル指導、従業員の意識改革など取り組みの成果と言える。
年度	実績値	達成率		
R2	251,000 人	57%		
R3	217,734 人	49%		
R4	300,406 人	68%		
R5	360,776 人	82%		
R6	- 人			
担当部署	産業観光課 産業振興室			
KPI	ホーム(総)ページ年間閲覧数			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	450,000 件 (達成目標)	現況 H30	406,285件	達成 ⇒アクセスしてもらうことが最終目的ではなく、そこから必要な情報を収集してもらったり、補助金等の申請をしてもらうことが目的である。記事の見つけやすさや、電子申請による申請率の向上に務める。
年度	実績値	達成率		
R2	887,129 件	197%		
R3	1,018,294 件	226%		
R4	1,010,221 件	224%		
R5	996,126 件	221%		
R6	- 件			
担当部署	企画財政課 企画室			
KPI	町公式SNSのフォロワー数(合計)			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	3,000 人 (達成目標)	現況 H30	未実施	未達成 トップページの工夫により、1,000人台に乗せることができた。今後、有料プラン等も検討し、行政ポータルの一つとして活用できるよう検討を進める。
年度	実績値	達成率		
R2	未実施 人			
R3	未実施 人			
R4	630 人	21%		
R5	1,149 人	38%		
R6	- 人			
担当部署	企画財政課 企画室			
KPI	文化財センター利用者数			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	1,500 人 (達成目標)	現況 H30	1,080人	平成30年度に開館して以降、初めて目標値を超えた。引き続き来館者の増加にむけた普及を図っていきたい。
年度	実績値	達成率		
R2	1,113 人	74%		
R3	1,178 人	79%		
R4	1,241 人	83%		
R5	1,534 人	102%		
R6	- 人			
担当部署	教育委員会事務局 生涯学習室			

①地域資源の発掘・活用

主な施策・事業	概要	取組実績
複合施設「道の駅よしおか温泉・緑地運動公園」の利用促進	パークゴルフの全国大会の開催や「渋川～伊香保～吉岡観光トライアングル」などの広域での観光産業の育成を支援していきます。	【緑地運動公園利用促進事業】(産業振興室) 町民ケイマンゴルフ大会時に景品を贈呈したほか複合施設であることの広告宣伝を図った。 ケイマンゴルフ場内の池5カ所に関して、悪臭や景観悪化に対処として堆積土の除去工事を実施した。
観光ボランティアの育成・連携	野田宿や大久保宿、船尾滝などの町内の見どころを有効活用するために、よしおか再発見ウォークへのボランティアスタッフの導入を推進します。 地域の語り部を観光ボランティアとして養成するための講座やワークショップを、既存の文化団体との連携を図りながら開催します。	【よしおか再発見ウォーク】(産業振興室) 実績なし (新たな観光PRイベントとして、地域事業者出店のマルシェイベントを実施したことから、よしおか再発見ウォークは開催されなかったため。)
		【よしおか再発見ウォーク】(生涯学習室) 実績なし。(産業振興室主催)
		【観光ボランティア養成講座、ワークショップ】(産業振興室) 実績なし (新たな観光PRイベントとして、地域事業者出店のマルシェイベントを実施したことから、観光ボランティアに係る施策である、よしおか再発見ウォークは開催していない)
		【観光ボランティア養成講座、ワークショップ】(生涯学習室) 実績なし。(産業振興室主催)
文化財を資源とした交流エリアの形成	歴史文化に関する情報発信や各種交流事業を実施し、町民の郷土愛の情勢を図るとともに、さまざまな方面にアピールをしていきます。	【企画展等の開催】(生涯学習室) 企画展「(株)ジョイフル本店店舗建設に伴う発掘調査展示七日市東遺跡・七日市遺跡・片貝IV遺跡」(令和5年4月7日～6月30日) 「夏休みこども展示 古代の暮らし」(令和5年7月1日～令和5年8月27日) 「昔のよしおか 暮らしのわかる道具」(令和5年9月1日～令和6年3月31日)
文化財資源の動画配信	ドローンなどで撮影を行い、文化財施設の紹介動画などをスマートフォンなどで気軽に見られるようにし、認知度や魅力度をさらに高めます。	【文化財資源等の動画制作・配信】(生涯学習室) 令和元年度に作成した「南下古墳群」の映像を、南下古墳群が県指定史跡になったことに伴い、テロップを入れ替えて再編集し配信した。

②「吉岡の魅力」の情報発信

主な施策・事業	概要	取組実績
道の駅「よしおか温泉」情報発信強化事業	道の駅「よしおか温泉」を町の東玄関口として位置づけていることから、広域観光案内、防災および地域情報の提供施設としてさらなる整備を図るとともに、地域特産品のPRの強化を図ります。	【デジタルサイネージ運用事業】(産業振興室) 道の駅や吉岡町の観光情報等の発信を、案内所に配置した小型サイネージを活用して行った。
		【Wi-Fi機器設置事業】(産業振興室) Wi-Fi回線の運用及び保守を行った。
		【PRイベント】(産業振興室) 道の駅を会場に指定管理者による独自のイベントや地域の団体等によるイベントが実施された。
まちのイメージアップと観光・行政情報発信の充実強化	吉岡の魅力を再発見し、町の良さを再認識できるような事業に取り組むとともに、ホームページのリニューアル等により「吉岡に行ってみよう」と思われるような情報発信を進めていきます。	【観光ホームページ等による情報発信】(産業振興室) 随時、掲載情報の更新と内容の充実化を行った。
		【ガイドマップの更新】(企画室) 在庫が存在するため、改訂等は行っていない。
		【ホームページの更新・リニューアル】(企画室) 的確な情報収集の手段として、役割を十分に意識した構成を行った。 所管部局に対し各記事のアンケート結果(分かりやすさ、見つけやすさ等)を周知し、内容の充実に務めた。
		【暮らしのガイドブックの発行】(企画室) 在庫が存在するため、改訂等は行っていない。
		【広報よしおかの発行】(企画室) 必要な情報を的確に伝えられるよう工夫しながら、毎月予定通り発行した。
		【移住・定住支援のPR】(協働安全室) 「はじめまして、暮らしまして、ぐんまな日々」を通じた問い合わせや移住希望者からの問い合わせの対応を行った。 渋川行政県税事務所主催のオンラインイベント「北群馬渋川移住セミナー」を実施。ZOOM 22名、facebook 4名の参加者

(2)働きやすい環境づくり

KPI	シルバー人材センター受注件数			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	1,300 件 (達成目標)	現況 H30	1,282件	受託事業から派遣事業への切り替えから、派遣事業へ積極的に取り組み、結果的として受託件数が減ったため。
年度	実績値		達成率	
R2	1,118 件		86%	
R3	1,091 件		84%	
R4	1,182 件		91%	
R5	921 件		71%	
R6	- 件			
担当部署	産業観光課 産業振興室			
KPI	無料職業紹介センター事業による就職成立者数 (商工会)			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	50 人 (毎年度目標)	現況 H30	46人	雇用情勢は経済社会活動が徐々に活発化する中で持ち直しているが、近年の物価高騰の影響もあり、企業の採用数が伸び悩んだため。 ※令和5年度緊急雇用対策事務委託をもって、町から商工会への業務委託が終了し、商工会は無料職業紹介センター事業を廃止する(令和6年度のKPIの算出は不可)。今後、町の雇用対策に関してはハローワークとの連携を強化していく。
年度	実績値		達成率	
R2	38 人		76%	
R3	44 人		88%	
R4	34 人		68%	
R5	32 人		64%	
R6	- 人			
担当部署	産業観光課 産業振興室			

主な施策・事業	概要	取組実績
放課後児童安全対策事業(見守りパトロール)【再掲】	児童の帰宅時等の安全を確保するため、放課後に見守りパトロールを実施することにより、保護者が安心して働けるように支援します。	【見守りパトロール事業(再掲)】(協働安全室) 委託先が公益社団法人群馬県長寿社会づくり財団に変更となり、内容については昨年どおり実施した。
ワーク・ライフ・バランスの普及・促進【再掲】	町民や企業に対しての広報・ホームページ等によるPR活動により、ワーク・ライフ・バランスに対する意識の啓発を図るとともに、仕事と家庭の両立を促進していきます。	【ワーク・ライフ・バランス普及促進事業】(産業振興室) 広報や庁舎内への掲示に加え、ホームページを用いての情報周知を行った。
地元住民の雇用促進	町内に進出する事業者に対し、正規雇用を含めた地元住民の雇用促進などに関する働きかけを行います。	【(仮)地元住民雇用促進事業】(産業振興室) 商工会との連携のほか、開発協議項目の「地元の雇用に関すること」の活用と大規模小売店舗立地審議会による現地確認の場での地元雇用への協力を事業者へ依頼した。 【地域特産品生産体制構築事業】(農業振興室) 新規就農者に対し県農業指導センターと連携した技術指導やサポートチームによる課題整理及び改善指導を実施した。

(3)新しいことにチャレンジする人を応援するまちづくり

KPI	新規就農者数			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	1人 (毎年度目標)	現況 H30	0人	達成 町農業の新たな担い手確保のため、農業指導センター等関係機関と連携し、新規就農相談を実施する。
年度	実績値		達成率	
R2	1人		100%	
R3	1人		100%	
R4	1人		100%	
R5	1人		100%	
R6	-人			
担当部署	産業観光課 農業振興室			
KPI	商工会新規登録事業所数			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	20事業所 (毎年度目標)	現況 H30	20事業所	達成 サービス業を中心に小売業、飲食業等の新規登録が増加したため(商工会より)。町としても商工会会員のメリット等を事業者へ伝える。
年度	実績値		達成率	
R2	13事業所		65%	
R3	17事業所		85%	
R4	20事業所		100%	
R5	20事業所		100%	
R6	-事業所			
担当部署	産業観光課 産業振興室			
KPI	起業件数			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	3件 (毎年度目標)	現況 H30	2件	達成 業種別では、サービス業(他に分類されないもの)、宿泊業・飲食サービス業、教育、学習支援業、学術研究・専門・技術サービス業、サービス業(他に分類されないもの)、生活関連サービス業・娯楽業、学術研究・専門・技術サービス業(日本産業分類大分類)。創業支援等事業計画書、ワンストップ相談窓口である商工会の活用を図る。
年度	実績値		達成率	
R2	4件		133%	
R3	9件		300%	
R4	7件		233%	
R5	7件		233%	
R6	-件			
担当部署	産業観光課 産業振興室			
KPI	移住支援金を活用した移住者の人数			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	5人 (毎年度目標)	現況 H30	0人	県開設のホームページなどを通じて、PR動画の配信等を行ったが、結果として、利用者はいなかった。
年度	実績値		達成率	
R2	0人		0%	
R3	0人		0%	
R4	5人		100%	
R5	0人		0%	
R6	-人			
担当部署	総務課 協働安全室			
KPI	地域おこし協力隊隊員数			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	1件 (達成目標)	現況 H30	0人	地域おこし協力隊を活用する事業の洗い出し等を行えなかったため。
年度	実績値		達成率	
R2	0件		0%	
R3	0件		0%	
R4	0件		0%	
R5	0件		0%	
R6	-件			
担当部署	総務課 協働安全室			

①就農支援・創業支援

主な施策・事業	概要	取組実績
耕作放棄地等を活用した就農支援	農業委員会が中心となり、認定農業者や農業に興味のある住民等を取り込み、地域一体となって耕作放棄地等の有効活用と就農支援に取り組みます。	【耕作放棄地の活用支援事業】(農業振興室) 農地の耕作状況を調査し、耕作放棄地の中間管理機構を通じた賃借を行った。
生涯現役就労支援	シニア世代の創業支援や地域からの雇用創出により、生きがいづくりを兼ね生涯現役で働き続けられるよう支援します。	【シルバー人材センター活用事業】(産業振興室) シルバー人材センターを活用してもらえるよう広報を通じたPR活動を行った。 【シニア向け就業相談事業等の情報提供】(産業振興室) 群馬県シニア就業支援センターに係るチラシの設置と町ホームページでの周知を行った。
創業支援事業	産業競争力強化法に基づく「吉岡町創業支援事業計画」を策定し、地域雇用の増加を図ります。	【吉岡町創業支援事業計画の運用】(産業振興室) 創業支援塾の受講機会の増加を目的に、町商工会、県商工連との取組に加えて、金融機関主催の創業支援塾を町の特定創業支援等事業として実施した。また、内容充実を図るため創業支援塾を追加した。
空き家の有効活用	空き家実態調査の結果を踏まえて、創業予定者に対する活用可能な空き家の情報提供などの事業所としての有効活用を図ります。	【空き家等対策計画の策定】(都市建設室) 前年度に実施した空家等実態調査を基に「吉岡町空家等対策計画」を令和5年3月に改定した。 「吉岡町空き家対策」冊子の寄贈を受け配布を始めた。 【空き家等対策計画の策定】(産業振興室) 町商工会との空き店舗の共有及び空き家実態調査結果による町空き家バンクへの登録は無く、創業予定者からの照会も無かった。

②地域活性化への取組支援

主な施策・事業	概要	取組実績
地域活性化への取組支援	地域の団体等が行うイベントや事業等に対し、補助金等も含め支援することにより、地域の更なる活性化を図ります。	【地域イベント事業助成事業】(協働安全室) 団体等のイベントに関する補助金はすでに廃止されている。また、地域の団体ではなく、特定の個人グループからのイベント開催の相談があり、町として金銭的補助はないものの、イベント実施には協力の姿勢を示したが、実現には至らなかった。
地域おこし協力隊の活用	地域おこし協力隊員を委嘱し、新たな支店から地域の活性化を図ります。	【地域おこし協力隊の活用の検討・研究】(協働安全室) 町内で地域おこし協力隊を活用できる事業等の洗い出しが行えず、活用には至らなかった。

(4)町の魅力や企業の価値を高める活動を応援するまちづくり

KPI	新規技術開発企業の発掘			未達成の場合、その理由 (達成の場合、今後の方針やプラスアルファの施策)
目標 R6	現状維持 (毎年度目標)	現況 H30	1件	中小企業者が自ら行う、ものづくりやサービス等に係る新技術・新商品の開発や地域特色を生かした新製品を開発する事業者からの提出が無かったため。 商工会経由での相談はあったが、補助対象事業として内容不十分であった。 受付、相談、申請は県と町それぞれ可能であり、連携して申請者の発掘を図る。
年度	実績値		達成率	
R2	0件		-	
R3	0件		-	
R4	0件		-	
R5	0件		-	
R6	-1件		-	
担当部署	産業観光課 産業振興室			

主な施策・事業	概要	取組実績
「よしおかブランド」の立ち上げ	町内の農商工生産物に対し、関係諸団体と協議のうえ、一定の基準を設けた認証制度を立ち上げ、有利販売に結びつけるとともに生産者の意欲向上を図ります。	【地域ブランド化に向けた研究】(産業振興室) 優良県産品の審査年であったため、広報誌、ホームページでの情報発信を行った。例年より申請が1社増加した。
		【地域ブランド化に向けた研究】(農業振興室) 「乾燥芋」ブランドの存続に向け、種芋の貯蔵庫を提供し、情報提供や技術指導を実施した。
6次産業化に対する支援	町内の農産物を活用し、付加価値を高めた販売に結びつけるための取組を支援します。	【地域特産品生産体制構築事業(再掲)】(農業振興室) 「乾燥芋」ブランドの存続に向け、種芋の貯蔵庫を提供し、情報提供や技術指導を実施した。
地域特産物の販売促進等の支援	地域資源を見直すことにより、農産物の加工販売や農業生産体験等を観光化するなどの新たな取組によって、地域雇用を生み出すとともに、地域の求心力を高めていきます。	【地域特産品のPR活動】(産業振興室) 渋川広域農業活性化推進協議会のイベントに参加し、ガイドブック等の配布を行った。
		【地域特産品のPR活動】(農業振興室) 地域特産物を使ったレシピを提供し、冊子を小中学校等へ配布し、PRを行った。
ぐんま新技術・新製品開発推進事業	町内中小企業者が行う新製品・新商品の開発に対して、群馬県と連携しながら支援していきます。	【ぐんま新技術・新製品開発推進事業】(産業振興室) 県と連携した広報活動のうえ2次募集(最終)まで実施したが、相談に終わり申請に至るものはなかった。
小規模事業者販路開拓等支援補助金事業	町内小規模事業者の販路拡大に資する取組への支援により、地域における持続可能な産業構造の強化を促進します。	【小規模事業者販路開拓等支援補助金事業】(産業振興室) 町ホームページの更新や町広報への掲載により事業周知を行ったほか、商工会との連携により申請の増加を図った。また、補助対象事業の例示の充実させた。 申請期間を延長したが予算額に達するまでには至らなかった。